



古道が紡ぐ物語



む 苔生した石仏の佇む滝坂の道—柳生街道編①

～春日山南麓（奈良市高畑町）から忍辱山円成寺（奈良市忍辱山町）まで～

柳生街道は、春日大社の神山である春日山の南麓から剣豪・柳生一族の里である柳生に至る、およそ 20km の道です。江戸時代には剣客が行き交い、また奈良町と柳生藩とを結ぶ重要な役割を担った道であり、明治維新後も昭和 30 年頃まで生活道路として機能していました。その沿道には、多数の石仏群の他、忍辱山円成寺、夜支布山口神社、柳生藩陣屋跡等の史跡が点在しています。

今回は柳生街道のうち、春日山南麓から円成寺を結ぶ石畳の道、滝坂の道を訪ねます。

苔生した石仏の佇む滝坂の道

■春日山原始林を抜ける石畳の道

春日大社の神山として、承和 8（841）年に仁明天皇により伐採を禁じられた春日山は、千年以上も人の手がほとんど加わっていない極相林（植物の遷移が均衡に達し安定した植生を保った林）である。「春日山原始林」として特別天然記念物の指定を受けているほか、1998 年には春日大社等とともにユネスコの世界文化遺産「古都奈良の文化財」の一つにも指定されている。

この春日山原始林の一部を抜け、春日山の南麓と高円山の北麓との谷あいを通る能登川沿いに東へと登る街道が、柳生街道である。特に石切峠を抜けるまでは、巨石が形作る小滝を縫うように急坂を上ることから、滝坂の道とも呼ばれている。

能登川の増水による冠水を防ぐため、江戸時代に奈良奉行が命じて敷設した石畳が残され、独特の風情を醸し出している。



石畳が残る滝坂の道

■静寂の中に佇む、苔生した石仏群

巨木に日光が遮られ昼間でも薄暗い森の中は、古くから僧たちの修行場となり、数々の石仏が残されている。室町時代の作という朝日観音、鎌倉時代の作と伝わる夕日観音は、それぞれ朝夕の太陽に照らされ金色に光り輝く様子から、いつからかそう呼びならわされている。

首に深い切込みの入った首切地蔵は、荒木又右衛門が試し斬りをしたという伝説が残っている。荒木は「鍵屋の辻の決闘」で仇討の助太刀をしたことで知られ、講談等では「36 人斬り」のフィクションとともに語られることから、首切地蔵の逸話も大方その延長であろう。

滝坂の道からはやや外れるものの、付近には春日山石窟仏、地獄谷石窟仏もある。静寂の中に苔生して佇む素朴な姿に、心洗われる気がする。



朝日観音（上）、
首切地蔵（右）

■石切峠を越え誓多林町に入る

滝坂の道を上りきると石切峠に至る。その地名からも窺えるように、一帯は良質な石材の産地として知られる。先ほどの石仏群も当地の石工が刻んだものであろうか。

この地で江戸時代から店を構え、数多くの武芸者や旅人の休息の場となってきた峠茶屋（奈良市誓多林町）は、今も訪れる人々に茶菓を提供している。飲み代の形として往時の武芸者が残したとされる武具や極意書の類を伝えており興味深い。

ところでこの誓多林町という由緒ありげな地名は、「北大和五山」と称された誓多林万福寺の山号に由来する。付近の菩提山町、鹿野園町、大慈仙町と同様、ブツダ修行の物語にあやかっつけられた山号が地名となっている。

■名刹・忍辱山円成寺

柳生街道をさらに東上すると、現存する「北大和五山」の一つ、忍辱山円成寺（奈良市忍辱山町）に至る。同寺は平安期の創建後、東密忍辱山流（真言宗の宗派の一つ）を開き、江戸時代には将軍家の庇護を受け大いに栄えた。

多宝塔には、平安末期から鎌倉初期にかけて活躍した仏師・運慶の最初期作という大日如来坐像が伝わる。その姿はたおやかにして優美、運慶の

代表作・東大寺南大門金剛力士立像の筋骨隆々とした姿とは対照的であるが、その顔立ちや体つきからは運慶らしい写実的な作風が感じられる。

（次号に続く）（太田宜志）

■柳生街道・滝坂の道を守る会

「柳生街道・清坂の道を守る会」は、1998年の「古都奈良の文化財」世界遺産登録を機に、地元・奈良市高畑町の有志が始めたボランティア団体。以来毎月1回、倒木の除去や石畳の補修などの街道を守る奉仕活動を行っている。毎年11月には奈良宝蔵院流槍術*保存会の協力を得て、滝坂の道から若草山山頂にかけてクリーンウォークも実施している。

こうした自然歩道の環境整備への取組みが高く評価され、同会は2014年度に環境省・奈良県より表彰を受けた。

代表の田中賢治氏は、「本会の活動も2016年で18年目を迎える。これからも柳生街道・滝坂の道の維持・整備を通じて、先人の遺産を後世にまで伝えていきたい」と語る。

【問合せ先：0742-49-7821（田中代表）】

*宝蔵院流槍術…「槍の宝蔵院」として、かつて武芸者の間では知らぬ者のなかった槍の流派。開祖の宝蔵院覚禅房法胤胤栄は、柳生石舟斎宗嚴とも親しかったという。

柳生街道（滝坂の道）の道のり

